

水稲用初期除草剤

シヨキニー®

®はクミアイ化学工業(株)の登録商標です。

250グラム フロアブル

容器のまま、アゼから、水口から!!

特長

ホタルイ、アゼナ類にもすぐれた効果

従来の一発剤で効きにくくなったホタルイやアゼナ類に対して高い効果が期待できます。

持続効果にすぐれ、安定した除草効果

効果の持続期間が長く、広範囲の雑草を一定期間的確に防除します。

クログワイにもすぐれた効果

クログワイに対して、発生前の処理ですぐれた効果を発揮します。(フロアブルのみ)

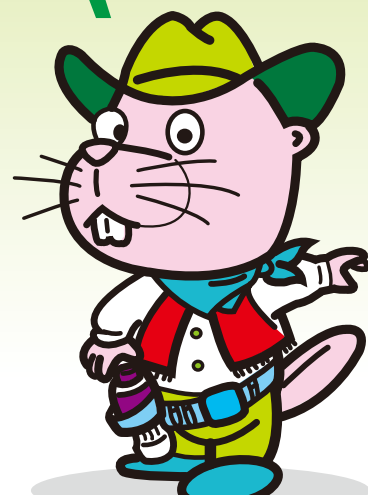
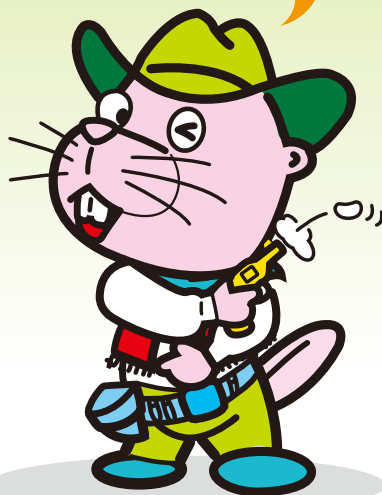
原液散布で省力・簡単

水中拡散性にすぐれ、畦畔からの散布のほか、水口施用もできます。

移植水稲に対する影響が少ない

水稲に対して薬害が少ないので、移植直後から安心して使えます。フロアブルは田植同時処理も可能です。

アゼナ、**OK!**
ホタルイも



クログワイ (フロアブルのみ)



コナギ



アゼナ類



ホタルイ



ノビエ



ミスガヤツリ



水稻用初期除草剤

シヨキニー®

250グラム 豆つぶ®

農林水産省登録 第20993号

有効成分：プロモプチド・・・24.0% ベントキサゾン・・・6.0%
人畜毒性：普通物（毒劇物に該当しないものを指している通称）

フロアブル

農林水産省登録 第19872号

有効成分：プロモプチド・・・18.0% ベントキサゾン・・・4.0%
人畜毒性：普通物（毒劇物に該当しないものを指している通称）

適用雑草と使用方法

250g

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量	使用方法
移植 水稻	水田一年生雑草 及び マツバイ、ホタルイ、ミズガヤツリ、ヘラオモダカ	移植直後～ノビエ1葉期 但し、 移植後30日まで	250g/10a	湛水散布、 湛水周縁散布、水口施用 又は 無人ヘリコプターによる散布

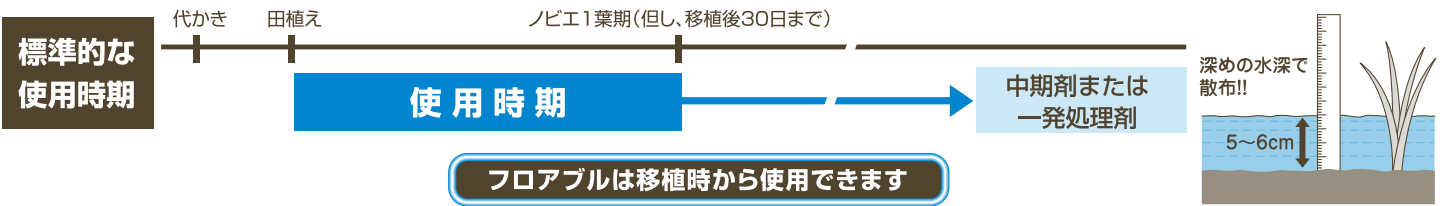
●総使用回数 本剤のみ…1回 プロモプチド剤…2回以内 ベントキサゾン剤…2回以内

フロアブル

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量	使用方法
移植 水稻	水田一年生雑草 及び マツバイ、ホタルイ、ミズガヤツリ ヘラオモダカ、クログワイ	移植時	500ml/10a	田植同時散布機で施用
		移植直後～ノビエ1葉期 但し、 移植後30日まで		原液湛水散布 又は水口施用
	水田一年生雑草 及び マツバイ、ホタルイ、ミズガヤツリ		300ml/10a (少量散布)	原液湛水散布

●総使用回数 本剤のみ…1回 プロモプチド剤…2回以内 ベントキサゾン剤…2回以内

上手な使い方



⚠ 使用上の注意事項

[250g・フロアブル共通]

- 雑草の発生前から発生始期に有効なので、ノビエの1葉期までに、時期を失しないように散布してください。
- 苗の植付けが均一となるように、代かきおよび植付作業は丁寧におこなってください。未熟有機物を施用した場合は、特に丁寧にしてください。
- 散布または水口処理後、少なくとも3～4日間は通常の湛水状態(水深3～5cm)を保ち、田面を露出させないように注意し、また、散布後7日間は落水、かけ流しはしないでください。また、入水は静かにこなしてください。
- 以下のような条件下では葉害が発生するおそれがあるので使用をさけてください。
 - ①砂質土壌の水田及び漏水田(減水深2cm/日以上)
 - ②軟弱苗を移植した水田
 - ③極端な浅植えの水田および浮き苗の多い水田
- 梅雨期等、散布後に多量の降雨が予測される場合は防除効果が低下することがあるので使用をさけてください。
- 散布後の数日間に著しい高温が続く場合、初期生育が抑制されることがありますが、一過性のもので次第に回復し、その後の生育に対する影響は認められていません。
- 散布した水田の田面水を他の作物に灌水しないでください。
- れんこん、くわい、せりなどの生育を阻害するおそれがあるので、これらの作物の生育期に隣接田で使用する場合は十分注意してください。
- 使用に当たっては使用量、使用時期、使用方法などを誤らないように注意するほか、別途提供されている技術資料も参考にして使用してください。特に初めて使用する場合には、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることをお勧めします。

[250gのみ]

- 多年生雑草は生育段階によって効果にふれがでるので、必ず適期に散布するように注意してください。ホタルイ、ミズガヤツリ、ヘラオモダカに対しては発生始期までが散布適期です。
- 湛水散布または湛水周縁散布にあたっては、やや深めの湛水状態(水深5～6cm)にして水の出入りをとめてください。
- 湛水散布の場合は田面に散布し、また湛水周縁散布の場合は、水田周縁部に沿って帯状に散布してください。

- 水口施用の場合は、あらかじめ1～2cm程度の水深を確保した状態で、入水時に本剤を水口に施用し、流入水とともに水田全面に拡散させ、施用後田面水が通常の湛水状態(湛水深3～5cm)に達した時に必ず水を止め、田面水があふれ出ないように注意してください。
- 藻類・表層はく離など水面浮遊物が多い場合は、本剤の拡散が不十分になるおそれがあるため、周縁部散布をさけ、本田内で、水田全面に散布してください。
- 吸湿性があるので、ぬれた手で作業したり、降雨でぬれることがないように注意してください。また、開封後は早めに使用してください。
- 無人ヘリコプターで散布する際は以下に注意してください。
 - ・散布は使用機種の使用基準に従って実施してください。
 - ・専用の粒剤散布装置によって湛水散布してください。
 - ・事前に薬剤の物理性に合せて粒剤散布装置のメタリング開度を調整してください。
 - ・散布薬剤の飛散によって他の植物に影響を与えないよう散布区域の選定に注意し、当該水田周辺部への飛散防止のため散布装置のインペラの回転数を調整し、圃場の端から5m以上離して圃場内に散布してください。
 - ・水源池、飲料用水などに薬剤が飛散、流入しないように十分注意してください。

[フロアブルのみ]

- 使用に当たっては、貯蔵中に分離することがあるので、使用前に容器をよく振ってください。
- 多年生雑草は生育段階によって効果にふれがでるので、必ず適期に散布するように注意してください。ホタルイは1葉期まで、ミズガヤツリは発生始期まで、クログワイは発生前が散布適期です。
- クログワイに対しては発生期間が長く、遅い発生のものには効果を示さないのので、必要に応じて有効な後処理剤と組み合わせ使用してください。
- 散布の場合は、湛水状態(水深3～5cm)で水の出入りを止めて散布してください。また、極端な浅水や深水での使用はさけてください。
- 水口施用の場合は、入水時に水口に施用し、流入水とともに水田全面に拡散させてください。処理後田面水が通常の湛水状態(湛水深3～5cm)に達した時に必ず水を止め、田面水があふれ出ないように注意してください。

本資料は平成29年7月現在の知見に基づき作成しております。

●使用前にはラベルをよく読んでください ●ラベルの記載以外に使用しないでください ●小児の手の届く所に置かないでください。

1430(17-7)